

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年12月24日

【評価実施概要】

事業所番号	272300880		
法人名	有限会社セイリュウ		
事業所名	グループホームもみじの森		
所在地 (電話番号)	〒036-0242 青森県平川市猿賀石林37-3 (電話) 0172-43-5213		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 28日	評価確定日	平成 19年 12月 24日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 12月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900円		

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 77.5 歳	最低	61 歳	最高	86 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人緑風会・花田医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くの畑に真っ赤なりんごがたわわに実り、ホームと隣接して美しい庭園を配した盛美園、近隣には猿賀神社と日本の原風景を思わせる、環境の良い場所に建てられていた。玄関や敷地内は綺麗に整備されており、施設内は空調が適切に管理され、整理整頓が行き届き、清潔に保たれていた。運営者が三年間じっくり勉強して開設したという熱意と理念が職員にも良く伝わっており、男性職員が多いなか家庭的な雰囲気作りで利用者が安心して生活している様子が窺われた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	概ね前回の評価への改善は見られているが、利用者の健康診断の実施について指摘された部分で、現在の職員のローテーションでは難しいとの説明であった。緊急時の早期対応にも一人ひとりの大切な情報になり得るので、計画的に実施することが望ましい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は外部評価について十分に理解し、職員会議等で評価結果について話し合い改善に向けて積極的に取り組んでいた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では町会長、民生委員から地域住民の要望や提案が出されるなど、活発に意見交換が行われている。また、広報紙の配布や外部評価結果等を公表し、施設の取り組みに対する意見をいただきながらサービスの向上に取り入れている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	利用料は毎月家族がホームへ持参することになっているため、其の都度家族や利用者の希望、要望等を話し合う機会を設けており、介護計画に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議でも地域住民の要望や提案が出されていることから、地域のなかの一員としての意識を持ち、積極的に地域活動への参加、協賛をし交流を深めることで、地域へのグループホームに対する理解が得られるものと思われる。また、警察署や消防署に対しても広報紙の配布をするなどして、日ごろから生活の安全を図る為にも連携を密にすることが望ましい。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中で暮らす」という理念が具体化してない。		地域の中で暮らし続けるという基本的な考え方を現在のホームの理念の中にも含めた理念を作ること期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務室、ダイニングなど随所に理念を掲げており、全職員がいつも目にしながら取組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地区の民生委員が年2回傾聴訪問として、ホームの利用者からの意見などを聞きに来る。受入はしているが、ホームから地域活動へはまだ参加できていない。		運営推進会議で町会長や民生委員から、ホーム機能の説明などを地域に求められているので、説明会的なものを開催してもらい、地域住民に理解してもらいまた親しんでもらえるような、相互に行き来できる関係作りを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を受けた後、職員会議で話し合い改善点などの具体的な取り組み方などを検討している。</p>		<p>おおむね前回の評価からは改善が見られていますが、利用者の健康診断の充実が今後の課題と思われれます。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議に評価内容を公表し改善にむけて、意見を取り入れている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>社会福祉協議会などとは連携を図っているが、市町村担当者とは連携を図れていない。</p>		<p>サービスの課題解決などのためには、市町村担当者との連携も必要です。また警察署や消防署とも生活安全のために連携を図ることを提案します。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>実際に利用している方がいるので、実務の経験があり十分理解している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体のみでなく心理的虐待も防げるよう、全職員がお互いに注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に家族又は本人にホームを見学してもらい、きちんと家族や本人に十分説明し同意を得て契約している。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書の発送に合わせて、毎月の金銭管理状況や2ヶ月に1回の広報誌などを同封し現況を報告している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	傾聴訪問や運営推進会議、家族の面会時など、外部の方が来訪する時には現況報告をもとに意見交換が行われている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間での異動が半年に1度あるが、最小限にとどめてなじみの関係を継続出来るよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	最低年に1回は外部の研修に全職員が参加出来るよう計画し、参加を促している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他法人のグループホームと交流を持ち職員研修として、お互いのホームで研修を行うなど質の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が入居したことにより孤立しないように色々な生活場面で本人の得意としていることなどを引き出せるように常に家族と連携を図り工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で利用者の働き甲斐を探し、共に学びあう姿勢を持ち利用者に関わっている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や家族からの情報、本人からの意向をアセスメントに書き落としケアプラン作成に利用し、生活の援助につなげている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の意見を取り入れながら、より良く暮らせるような介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には3ヶ月に1回の見直しを行っているがその間に状況変化が現れた場合は随時カンファレンスを行い追加プランを現行プランに追記して対応している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	随時、利用者や外出などが出来るよう希望に応じている。また家族も一緒に外出などのサポートに応じてくれる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に入居前からのかかりつけ医との関係を大切に、入居後もかかりつけ医への受診を支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族やかかりつけ医と十分に相談し、方針を決めている。		事前に話し合いを持ち取組んでいるので、今後はさらに同意書などの作成を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	各利用者の個人情報は徹底して守られ、また声掛けも尊厳を傷つけないように注意されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴など一定の施設のスケジュールはあるものの、外出などがあれば柔軟にスケジュールを調整し利用者の希望に応じている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しむだけではなく、調理や準備を手伝ったりして楽しめるように支援している。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の出勤を入浴にあわせるため利用者の入浴日は決まってしまう。		今後は利用者の希望に応じた入浴日に応じれるように期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者それぞれの生活歴を重視し、それに基づいた個々の得意分野での支援を行っている。野菜や花など農作業が得意な方が多いのでホームの周りに畑を作り協働している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望があれば近くにあるショッピングモールやスーパーなどに出向き買い物をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束について理解しており、身体拘束は行っていない。また建物内に死角になる部分がないようにミラーを設置している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室や玄関には鍵をかけない対応をしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、避難訓練を行い有事に備えてはいるが、消防や地域の消防団などとの協力体制構築には至っていない。</p>		<p>地域の中のホームという意識を持ち、日ごろより地域の消防団などと連携することを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>運営者が農業を営んでいることから、季節の野菜や果物を使用した献立を立てており、必要な栄養や水分がとれるよう工夫されている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症の対応マニュアルが準備されている。いつでも職員がマニュアルを見ることができるように掲示され、予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天窓にはブラインドによって採光の調節ができるよう設えてあり、心地よい光が取り入れられている。またリビングの窓からは隣地の紅葉など季節感を感じることができるようになっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個人の居室は寝具(ベットや布団)から全て個人が自宅で使用していたものを持ち込んでもらい、それぞれの利用者が自宅で過ごしていた雰囲気的环境づくりをしている。</p>		

 は、重点項目。